

建設産業の今を伝え未来を考える

建設業



No. 543

Nov.2022

11



特集

建設産業
女性定着支援ネットワーク



今月のCCUS

事前準備でスムーズ申請!



建設キャリアアップシステム

人を大切に育てる新しいシステムです
事業者・技能者みなさまのご登録をお願いします



一般財団法人
建設業振興基金

知ってほしい、より安心の制度。

掛金負担
が軽減

契約者割戻金制度
がスタート
(令和4年4月より)

手厚い補償

保険金区分合計
最高5,000万円

労働者と
企業の
リスクをカバー

今すぐ、ご加入を!

制度が変わって、安心充実。

法定外労災補償制度

建設共済保険

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階



取扱機関：各都道府県建設業協会

正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前9:00～午後5:00(土日祝を除く)

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>

CONTENTS

特集

建設産業女性定着支援ネットワーク — 02

～働くすべての女性が「働きがい」と「働きやすさ」を実感できる、建設産業へ～

- ネットワーク設立の経緯
- ネットワークの主な取り組み
- 新規団体を募集しています!
- 建設産業女性定着支援ネットワーク 構成
- 全国・都道府県別の加入状況
- 「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」について
- 事例集の紹介

FOCUS

工業高校紹介

長崎県立鹿町工業高等学校

■ インタビュー：豊村 洋文 先生

08

PRESCRIPTION

日本経済の動向 — 10

- コロナ後の世界経済の変化

建設経済の動向 — 11

- 政策誘導の賃上げは持続できるのか

連載 かわいい土木【第46回】 — 12

- 生駒ケーブルと生駒山上遊園地飛行塔
／奈良県生駒市

令和4年度「作文コンクール」受賞作品が決定! — 14

お役立ち連載 建設キャリアアップシステムを活用しよう!【第3回】 — 16

いつでもチェック!!

建設業 **しんこうWeb**

建設産業の今を伝え
未来を考える

「建設業しんこう」は
Webでも
ご覧いただけます。



しんこうWeb

検索

<https://www.shinko-web.jp/>



メルマガ登録は
コチラから!



「建設業しんこう」に関するご意見・ご要望
TEL : 03-5473-4584 (企画広報部)
MAIL : kikaku@kensetsu-kikin.or.jp

印刷：日経印刷株式会社
©本誌記事の無断転載を固く禁じます。

建設産業女性定着支援ネットワーク

～働くすべての女性が「働きがい」と「働きやすさ」を実感できる、建設産業へ～

建設産業女性定着支援ネットワークは、全国各地に組織され女性活躍を推進する団体の相互交流や情報交換、連携等を促すことにより、建設産業で働く女性の入職促進、定着を図ることを目的として平成30年に始動しました。現在、登録は45団体、構成人数は約8,000人にのぼっており、全国的なネットワークが構築されています。



■ ネットワーク設立の経緯

建設産業女性定着支援ネットワークの設立は、平成26年度に官民により「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」が策定されたことに端を発します。この行動計画では、「女性活躍」の推進には、全国的な地域ネットワークを構築し、地域や職種ごとに組織されている建設業団体や建設業で働く女性グループの取り組みを、全国にうねりとなって伝播し、広く根付かせることの重要性が指摘され、これを受けて平成30年12月に「建設産業女性活躍推進ネットワーク」が設立されました。(設立時の登録団体:全国25団体)

その後、令和元年度には、更なる取り組みの推進を目的に「働きつづけられるための環境整備」に重点を置いた「女性の定着促進に向けた建設業行動計画」が官民、そして建設産業女性活躍推進ネットワークにより新たに策定され、これを機にネットワークの名称も「建設産業女性定着支援ネットワーク」へと改称して、「女性の定着」をキーワードに掲げ、さらなる活動の充実を図っています。

■ ネットワークの主な取り組み

● **イベントの開催** 登録団体の交流や情報共有などを目的とした全国大会やWEBセミナー等を開催しています。

● 全国大会

令和3年2月にWEB開催された全国大会では、登録団体の活動発表や登録団体に所属する会員個人から寄せられた数々の悩みや相談にパネリストがお答えする相談会形式のパネルディスカッションを行いました。(当日の様様はYouTubeでも公開)



全国大会の模様



● WEBセミナー

女性のみならず誰もが建設産業で働き続けられるために様々な取り組みを実施している経営者の方を講演者としてお招きし、令和4年2月に「地域建設産業の就業継続に向けた意識改革WEBセミナー」を開催しました。(セミナーの内容については期間限定で本年度までYouTubeで公開)

WEBセミナーの動画



● 建設産業女性定着支援WEB



建設産業の女性定着に関する情報やネットワーク登録団体の活動を網羅的に掲載しているポータルサイトです。全国大会の動画や取組事例集などもご紹介しています。

タイムリーな情報を続々と発信

女性定着に関する情報を網羅

全国各地の取組を紹介

WEBサイトはこちら



新規団体を募集しています!

当ネットワークでは、行動計画で掲げている目標の1つである「令和6年までに都道府県単位で活動している団体の「建設産業女性定着支援ネットワーク」への加入をすべての都道府県で目指す。」を達成するために、新規団体を募集しています。建設産業で働く女性の入職、定着を推進することを主たる目的とした団体であれば、幅広く加入頂けます。ぜひ加入をご検討ください!

◆当ネットワーク加入のメリット

- 1 ポータルサイト上に専用ページを開設可能
⇒当ネットワーク内外へ情報発信ができます!
- 2 当ネットワーク主催等の意見交換会の場への参加等
⇒全国各地の団体と繋がるができます!
- 3 事務局がパイプ役となり、他団体と連携したイベントの開催等の取り組みや、団体の紹介が可能
⇒加入団体同士が連携して取り組みを実施!(実績あり)
- 4 入会費や年会費
⇒無料でご加入いただけます。



メリット① 専用ページ開設例



WEBサイトはこちら

◀ 団体の活動を写真付きで公開できます

◆今後の活動

本年度は、各地域毎のNW加入団体を集めた、ブロック意見交換会(11月中旬～1月中旬順次予定)や全NW加入団体を集めた全国大会(1月中旬～2月中旬頃)を開催する予定ですので、全国の他団体と交流することが可能です。

問い合わせ窓口

建設産業女性定着支援ネットワーク事務局
(受託者:一般財団法人建設業振興基金 人材育成支援課)

電話 **03-5473-4572**

メール jyokatsu@kensetsu-kikin.or.jp

少しでも
興味がある場合は
ぜひご連絡ください!

建設産業女性定着支援ネットワーク 構成

2022年8月末現在

◆登録団体一覧(45団体) 地方自治体や建設業団体、一般企業等、様々な運営主体の団体が登録

- 全国**
- (一社)日本建設業連合会 けんせつ小町委員会
 - (一社)土木技術者女性の会
 - 建築設備六団体協議会 設備女子支援ネットワーク
 - 日本建築仕上学会 女性ネットワークの会
 - (一社)日本造園建設業協会 女性活躍推進部会
 - (一財)建設物価調査会 チームひまわり
 - (一社)日本溶接協会 溶接女子会
 - 測量・地理空間情報 女性の技術力向上委員会 「ソクジョの会」
 - (公社)日本建築積算協会 積女ASSAL委員会
 - (公社)日本コンクリート工学会
 - コンクリート分野における女性活躍推進普及委員会
 - 全国スーパーウォール会 全国プリリアント会
 - けんせつ姫
 - 日機協女性部会「チームはにやま姫」
 - 全国女性造園技術者の会
 - 建設ディレクターネットワーク

- 北陸**
- にいがた土木女子会議
 - (一社)新潟県建設業協会 女性部会
 - (一社)石川県建設業協会 百万石小町『結』

- 中部**
- (一社)WOMAN EMPOWERMENT PLATFORM (WEP) SCG's (Shizuoka Construction engineer Girl's)

- 近畿**
- (一社)女性技能者協会
 - 大阪市立大学工学部 都市会女性の会

- 中国**
- とっとり建設☆女星ネットワーク
 - しまね建設産業イメージアップ女子会
 - やまぐち建設産業女性の活躍支援ネットワーク

- 四国**
- なでしこBC連携
 - KDJ(高知土木女子)

- 九州 沖縄**
- けんちくけんせつ女学校
 - 矢部川女性技術者の会
 - ながさき建設女子ネットワーク ~よりより~
 - 熊本県建設産業団体連合会 くまもと建麗会
 - BLOCKS FRIENDS
 - Teamけんせつ美ら小町

- 北海道 東北**
- あおもり女性建設技術者ネットワーク会議
 - いわて女性の活躍促進連携会議 けんせつ小町部会
 - (一社)岩手県建設産業団体連合会
 - 岩手県建設業女性協議会
 - (一社)宮城県建設業協会 宮城建設女性の会2015
 - あきた建設女性ネットワーク クローバー
 - (一社)福島県建設業協会 ふくしま建女会

- 関東**
- (一社)茨城県建設業協会 建女ひばり会
 - 全国低層住宅労務安全協議会 じゅうたく小町部会
 - 東京外環プロジェクト・女性技術者の会
 - “クレーンガールズかながわ” TEAMつる姫
 - 山梨県建設業協会青年部 けんせつ小町甲斐
 - (一社)長野県建設業協会 女性部会



全国・都道府県別の加入状況

NW加入団体は、年々増えておりますが、全都道府県のNW加入を目指し、普及促進を図っています。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
全国	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	
15		1	2	1	1		1	1					2	1	2		1		1	1	1	1		
24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	
三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	
		1	1				1	1			1	1			1	2		1	1	1			1	

※数字は全国・都道府県別に分けた場合の団体加入数

すべての都道府県にネットワークを行き渡らせよう

平素より建設産業における女性の定着に向けた取組にご理解を頂きありがとうございます。私ども建設産業女性定着支援ネットワーク(以下、NW)は、建設産業で働く女性の入職促進、定着を図ることを目的に全国各地に組織されている女性活躍・女性定着を推進する団体の相互交流や情報交換・連携を促す活動を行っております。

特に現在は、令和2年(2020年)策定の「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」の官民を挙げた取組目標に、都道府県単位で「女性定着」&「業界の意識改革」に取り組む団体のNWへの加入をすべての都道府県で目指すことが明記されたことを受け、地域建設業への働きかけに力を入れております。新型コロナ禍ではありますが、WEB主体の取組へのシフトなどにより、全国大会やWEBセミナーの開催、キャリアパス・ロールモデル集の作成・展開などの取組の成果として、2022年9月現在では、全国団体15団体、都道府県単位で活動する地域団体30団体、合計45団体にご登録頂き、約8,000人の女性とつながることができました。

しかし、残念ながら都道府県別にみていくと、いまだ21の道県では加入団体が無い状態が続いています。北海道、山形、栃木、群馬、埼玉、千葉、富山、福井、愛知、三重、滋賀、兵庫、奈良、和歌山、岡山、広島、香川、愛媛、佐賀、宮崎、鹿児島で働く女性はNWにつながることができません。引き続き、国土交通省と業界5団体(日本建設業連合会、全国建設業協会、全国中小建設業協会、建設産業専門団体連合会、全国建設産業団体連合会)と連携して各地域に働きかけておりますが、加入団体の無い地域で働く女性の皆様からも声を上げて頂きたくお願いいたします。一人一人の声は小さくても、NWとつながり一緒に活動することにより大きな力を生み出すことができます。どうぞ諦めずに声を上げてください。

今年度は、地域で働く女性技能者の建設キャリアアップシステム(以下、CCUS)の登録促進にも力を入れるとともに、CCUSを活用して女性の就業継続につながる活動を推進いたします。

建設現場の隅々まで「働きがい」と「働きやすさ」の両立が実現できる職場環境を行き渡らせ、全国津々浦々に孤軍奮闘する女性の力になりたいと心から願っております。女性の定着促進が、誰一人とり残すことなくすべての人にとって魅力ある建設産業の実現につながると信じております。今後ともご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



建設産業女性定着支援ネットワーク
幹事長 須田 久美子

本ネットワークのシンボルマークを募集しています!

現在、本ネットワークを象徴し、建設産業で働く女性がイメージできるシンボルマークのデザインを募集しています。応募締切までまだ時間がありますので、皆様のご応募をお待ちしています!



詳しくは
こちら



応募方法	郵送またはインターネットによる応募
応募締切	2022年11月30日 郵送の場合は消印有効
発表	2023年2月頃
主催	国土交通省、 建設産業女性定着支援ネットワーク (事務局:一般財団法人建設業振興基金)

賞

- 大賞(1作品)**
3万円分の商品券+賞状
- 奨励賞(2作品程度)**
5千円分の商品券+賞状
- 佳作(2作品程度)**
3千円分の商品券+賞状
- 小中学生特別賞(3作品程度)**
3千円分の図書カード+賞状

行動計画知ってますか??

認知度100%を
目指しています!

■「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」について

●行動計画の概要

平成26年に「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を策定して約5年、新・担い手3法、i-Construction、建設キャリアアップシステムなど建設産業を取り巻く環境の変化により、女性が就業しやすい環境が整いつつありました。そのような中、環境の変化に対応するため、次の5年間を見据えた「**女性の定着促進に向けた建設産業行動計画**」(以下、「**本行動計画**」)を令和2年1月16日に官民共同で策定しました。新計画では、建設産業で働く全ての女性が「働きがい」と「働きやすさ」の両立により、就業継続を実現することを目的にして、「働きつづけられるための環境整備」を中心に、3つの柱で構成し、それぞれの柱の趣旨を達成するための目標を設定しました。

本行動計画の 策定趣旨

- 建設産業における女性の就業をさらに促進するためには、就業の継続が大きな課題であり、本行動計画策定により、建設産業で働く全ての女性が「働きがい」と「働きやすさ」を両立した就業継続を実現することを目的としている。
- 「働きつづけられるための環境整備」に重点を置くことを端的に表現するため、これまでの「女性活躍」ではなく「女性定着」という表現を使用。

策定団体

国土交通省および建設業5団体※1、**建設産業女性活躍推進ネットワーク**※2

※1 建設業5団体：(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)建設産業専門団体連合会、(一社)全国建設産業団体連合会

※2 現在の建設産業女性定着支援ネットワーク

内容

- 「働きつづけられるための環境整備」を中心に3つの柱で構成
 - ①働きつづけられるための環境整備を進める
 - ②女性に選ばれる建設産業を目指す
 - ③建設産業で働く女性を応援する取組を全国に根付かせる

数値目標

柱の趣旨を達成するための取組目標(～令和6年度)

- 「女性の入職者数に対する離職者数の割合」を前年度比で減少させる
- 「入職者に占める女性の割合」を前年度比で増加させる
- 新計画の内容の認知度100%を目指す
- 都道府県単位で活動している団体の「建設産業女性定着支援ネットワーク」への加入をすべての都道府県で目指す**



現在、本計画に基づき、官民をあげて建設産業における
女性活躍・定着促進に向けた活動に取り組んでいます

本行動計画の本文等については、
こちらのページをご覧ください。



■ 事例集の紹介

建設産業における女性の就業継続の助けとなる好事例を水平展開するため、国土交通省では様々な事例集を作成しています。なお、事例集については建設産業女性定着支援WEBでご覧いただけます。

女性定着促進に向けたアクションプログラム (R2年度作成)



▲各都道府県の取り組みがまとまっています。

様々な企業の取り組みを ▶ 紹介しています。

行動計画の趣旨を地域に根差すために作成した事例集です。47都道府県の自治体の取り組みや、先進的な取り組みを行っている企業を紹介しています。



建設産業における女性の就業継続にむけたキャリアパス・ロールモデル集 (R3年度作成)



▲入職した理由や仕事のやりがいについてインタビューしています。

これまでのキャリアパス ▶ を紹介しています。

建設業への入職を検討している方や、就業継続に悩む方の参考として作成した事例集です。建設産業で働く女性のインタビューやキャリアパスを紹介しています。



FOCUS

「道を究める」プロフェッショナルへ！ 現場で活躍する力を育む取り組みとは？

かつて海軍の軍港として栄え、現在は国際色豊かな港町として知られる長崎県佐世保市。この町で開校60周年を迎えた長崎県立鹿町工業高等学校は、「われ共に学びて 道を究めん」を校訓に生徒・職員が一丸となって学びを深め、資格取得や部活動に意欲的に取り組む工業高校です。地元をはじめ、九州や関西、関東と幅広いフィールドで活躍する卒業生たちを輩出する同校について、土木技術科の豊村先生にお話を伺いました。

長崎県立鹿町工業高等学校
土木技術科

豊村 洋文 先生

実践的な基礎・基本を重視した 独自の取り組みで生徒を育む

キャッチフレーズである『汗を流して半人前、腕を磨いて一人前、道を究めて男前』という言葉が印象的な同校。離島の多い長崎県内で唯一の学生寮を備えた工業高校であり、遠方から入学する生徒の受け皿にもなっている。独自の取り組みの一つが『鹿工訓練』だ。

「授業前や実習前に行っている取り組みが『鹿工訓練』です。これは人員点検や指差呼称での安全確認、体調確認やゼロ災害宣言など、また土木であれば夏でも長袖・ヘルメット・安全靴といった服装点検など、

実際の現場で行われている集団行動を取り入れた訓練のこと。卒業後、すみやかに職場に適応し、現場へと出られる能力の育成を見えています。こうした実践的な取り組みとあわせて、朝の15分間を数学や英語などの学びにあてた『アサカツ』という時間も取り入れ、就職試験に対応できる基礎学力の向上や、国際社会の中で活躍するための英語力の向上などを図っています。本校の生徒は総じて素直で、実習も真面目に取り組めますが、中には勉強が苦手な子もいます。『アサカツ』はそうした生徒たちの学力をフォローするとともに、全体の力を引き上げていくことが狙いです」

これらの取り組みの成果は、就職率・進

路決定率ともに100%という数字にも表れている。さらに補習とあわせて面接練習にも注力していることが、優れた数字につながっているようだ。

「面接練習では、面接官となる職員7名のうち5名以上から合格をもらうことを条件としています。最初はうまく話すことのできない生徒も、練習を重ねる中で視線や声の張り、話し方などが向上します。成長していく様子を見るたび、感慨深いものがあります」

幅広い資格と専門性を 強みに活躍する戦力へ

2級土木施工管理技術検定（第一次検定）や測量士補のほか、小型移動式クレーン技能講習や玉掛け技能講習、アーク溶接特別教育、小型車両系建設機械運転特別教育など、様々な資格取得・技能習得に積極的なことも同校の土木技術科の特徴だ。

「土木技術の専門知識を学びながら、実践的な技術者の育成を目指しています。幅広い資格や技術・技能を身に付けることは就職に役立つとともに、即戦力として活躍することにもつながります」

民間企業で測量に携わっていた経験もある豊村先生。同校でも継続的に測量士補試験に挑む生徒たちの背中を押す中、今年度から新たに取り組んでいる試みが測量士試験の合格者を輩出することだ。



再び全国制覇を目指す！ 土木技術部

次なる高校生ものづくりコンテストに向けて研鑽を積む、豊村先生が顧問を務める土木技術部。「練習量はどの学校にも負けていないと思います。大切にしているのは基礎・基本の徹底と、朝・放課後の反復練習。ときにはOBが来て練習を見てくれたり、同じくものづくりコンテストに向けて取り組む他校と練習試合を行ったりするなど、良いつながりに支えられています」と、笑顔を見せる豊村先生。生徒たちも切磋琢磨しながら、日々成長を続けている。目指すは2度目の全国大会優勝だ



コレ推し!

土木建造物

平戸大橋



長崎県北部の平戸島と本土を結ぶ、赤く美しい姿がひととき目を引く平戸大橋。「以前近くに住んでいた頃、よく趣味のウォーキングに利用していました。通勤などにも日常的に使われ、地域の方々にも親しまれている橋です」。夜にはきらびやかにライトアップされるなど、昼夜で異なる表情も魅力的です。



測量やコンクリートのほか、日本クレーン協会と連携した小型移動式クレーンや玉掛けなどの実習型授業にも取り組む同校。「他にも型枠を組んだり足場を組んだり、生徒が現場同様の経験に触れられるよう意識しています。企業側も即戦力となれる若手に期待していますね」と豊村先生



「2年生で測量士補試験を合格し、3年生で測量士試験に挑戦、という流れをつくりたいと考えています。それをクリアするため生徒たちに促しているのは、“とにかく書く”ということ。教科書を見て終わりにせず、基礎を繰り返す、過去問を解き、ペンを走らせていく。その積み重ねが生徒自身の確かな力になり、本校の目指す“道を究める”ことにもつながります」

次代の担い手であり、即戦力にもなる同校の生徒たちに、周囲も大きな期待を寄せる。「県内の建設企業や団体の皆さまのご協力のもと、様々な現場見学会やインターシップの機会を得ることができています。また講師という形で来校いただき、足場や鉄筋についてなど生徒が実践的な学びを深められるよう支援していただき、ありがたい限りです。長崎県土地家屋調査士会さまにも2006年より測量技術指導をしていただき、そのつながりをもとに本校と連携した小学校への出前授業を実施しています。出前授業をきっかけに建設業の



「明るく話したり笑い話を交えたりと、授業を飽きさせない工夫も大切」と話す豊村先生。測量の仕事に携わっていた経験も踏まえながら、生徒たちに土木の世界を分かりやすく伝えている。「つらいこともある反面、楽しさもあり、やりがいもある仕事。社会基盤を支え、世の中に貢献できる仕事であるということは常に示していきたいです」

魅力を知り、本校に入学した生徒もいるなど、新たなきっかけとなっていることを実感しています」

技術よりも大切なことを身に付けてほしい

高校生ものづくりコンテスト測量部門において、2016年に全国大会優勝、2018年に準優勝を果たしている同校の土木技術部。その顧問として、豊村先生も熱い想いを抱える。

「もちろん技術も大事ですが、例えば時間を守る、道具を大切にす、整理整頓をするなど、“当たり前のことを当たり前にする”大切さを知り、身に付けてほしいと思います。ある年のものづくりコンテストで不本意な成績に終わった際に、自分たちに何が足りなかったのだろうと当時の生徒たちと話し合いました。その中で出てきたのは、感謝の気持ちが薄れていたのではないか、ということ。周囲や地域への感謝もまた、技術よりも大切な“当たり前のこと”の一つです。それをきっかけとして通学に利用している最寄り駅の清掃活動を始めたところ、心の面もチームの絆も以前より深まりました。そうした経験を通して成長した生徒たちは、大人に混じって参加した測量大会でも優勝を果たしたほか、次のものづくりコンテストでも見事な成績を収めることができました」

ただ一方的に言い聞かせても、生徒たちを主体的に動かすのは難しい。豊村先生

生が大切にしているのは“自分から動く”というアクションだ。

「心がけているのは、一緒に体験すること、一緒に汗を流すことです。朝練にも時間より早めに顔を出したり、測量に用いる機材を大切に扱ったり、靴をきれいに整頓したり…何気ない“当たり前のこと”ですが、私自身が動くことで模範になれるよう努めています。そうした姿を見て主体的に動くようになった生徒たちを見ると、私自身もうれしくなります」

新たな測量士試験合格者の輩出へ、そして、ものづくりコンテスト全国優勝へ。豊村先生と生徒たちの挑戦に、期待は高まるばかりだ。

先生からみんなへメッセージ



長崎県立鹿町工業高等学校

〒859-6145 長崎県佐世保市鹿町土肥ノ浦110

WEB <http://www2.news.ed.jp/shikamachi-th/>



新たな事業機会の可能性

コロナ後の世界経済の変化

みずほリサーチ&テクノロジーズ 調査部 次長 有田 賢太郎

ワクチンや経口治療薬の普及で、世界は徐々に、新型コロナウイルス感染症との共生に向けて歩みを進めている。コロナ禍は世界経済に大きな影響をもたらしているが、今後はどのような変化があるのだろうか。そこで今回は、コロナ禍対策の世界経済への影響や、コロナとの共生が進んだ先の変化の可能性について解説する。

世界は徐々にコロナとの共生による出口へ

2020年以降、世界は新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）との戦いを続けてきた。そして、徐々にだが、出口に向かいつつあるようだ。発症予防効果のあるワクチンや、重症化防止効果のある経口治療薬の普及により、コロナによる病床のひっ迫、それに伴う死亡リスクが20年当初よりも低減されたことが大きい。

コロナ自体は変異をしながら感染再拡大と縮小の波を繰り返しているものの、米国や欧州では既にコロナへの警戒レベルを下げる動きが出て来ている。例えば米国では、疫病対策センターが6フィート（2メートル弱）の距離の維持（ソーシャルディスタンス）を、今後は勧告しないという措置を8月に発表した。フランスでは、8月にマスク防疫規制を解除したほか、外国人の入国時にワクチン接種証明書などの書類提出を不要とするなど、入国規制緩和を行った。このような動きがまだ進んでいない新興国などにおいても、今後徐々に同様の対応がなされるのではないかと。

コロナが根絶したわけではないが、世界はコロナとの共生を図りながら、出口を模索している状況だ。

世界経済はコロナ禍対策の副作用に苦しむ

世界はコロナとの戦いからの出口に徐々に向かっているが、世界経済はコロナ禍当初に実施された経済対策措置の副作用に苦しんでいる。20年にはコロナ対策として、各国で厳しい活動制限が行われ、世界経済はマイナス成長に陥った。当時は世界経済の底割れを防ぐため、過去にない規模で家計への現金給付などの財政支援措置、更に金融緩和措置が取られることになった。その効果もあり、21年の世界経済は回復した。

一方でこうした支援措置は、副作用としてグローバルインフレを引き起こす一因になった。コロナ禍での政府の現金給付措置が消費者の消費余力を増やす一方で、コロナにより労働者や工場の活動が制限され、供給制約が発生したことで、需要が供給を上回り、インフレ圧力として働くことになった。さらにロシアによる原油・

ガスなどの資源供給制限がインフレを加速させた。

インフレを抑えるためには、需要を抑える必要があり、米国などでは金融緩和から引締めへ政策転換を行った。また、コロナ禍当初に実施された大規模な財政対策はあくまで一時的で、財政支出の規模は、今後各国とも前年比で伸びが鈍化、あるいは縮小するだろう。こうした金融政策や財政政策の変化は、それ自身が狙いでもあるのだが、需要の下押し圧力となる。それらも踏まえて、みずほリサーチ&テクノロジーズでは、23年にかけて、欧米の景気後退を予測している。

出口の先はコロナ前とは異なる世界の可能性

コロナ禍対策の副作用に苦しんでいるのが目下の世界経済だが、副作用の影響が一服したその先はどうなるのだろうか。不確実性が高く明確なことはいえないが、少なくともいくつかの点で不可逆的な変化が起こり、コロナ前の世界には戻らない可能性がある。紙面の関係で2点だけ取り上げたい。

1つ目は働き方の変化だ。コロナ禍で半強制的にソーシャルディスタンスが求められ、その結果として世界各国でリモートワークが急速に普及・促進した。足元では揺り戻しの動きはあるものの、完全にはコロナ前の状況には戻らないだろう。

2つ目は各国の安定調達・自立化の動きだ。コロナ禍で生じた供給制約は、ロシアの動きも相まって、各国の安定調達への意識を高めることになった。端的な例として、風力や太陽光発電などの再生可能エネルギーは、エネルギーの自立化という点で、投資が加速し普及が進むのではないかと。

上述の変化は、経済の目線では、短中期ではコスト増による成長阻害要因になる可能性がある一方、中長期ではイノベーションの機会となり、成長を促進する期待もある。企業にとっても同様で、上述の動きは脅威でもあるが、事業機会にもつながるだろう。外部環境の変化や不確実性に臆することなく、どん欲に事業機会ととらえる日本企業が増え、ひいては日本経済の成長に繋がることを期待したい。

政策誘導の賃上げは持続できるのか

日経クロステック建設編集長 浅野 祐一

政府主導の賃上げを推進するために、公共事業で賃上げ企業を優遇する措置が講じられている。賃上げの実施を表明した会社に対して、総合評価落札方式の入札で加点するのだ。政策誘導の効果はてきめんで、建設会社や建設コンサルタント会社の賃上げが加速している。ただし、制度依存の賃上げは危うさも内包する。

日本経済の復活に向けて欠かせない「賃上げ」。民間企業の賃上げを後押しする一手として、国が掲げたのは、賃上げ企業への入札優遇策だ。

例えば、資本金が1億円を超える大企業であれば、前年度比で1人当たり給与を3%以上増やすと表明した場合に総合評価落札方式の入札で加点する。中小企業であれば、従業員の給与総額や1人当たり給与を1.5%以上引き上げると表明すればよい。

表明した時点で加点される仕組みなので、実際に給与を上げない会社が出てくる恐れがある。そこで、所定の賃上げを達成できなかった企業に対しては、ペナルティーを科す。賃上げ表明で受けた加点以上の点数を減点されてしまうのだ。

この入札優遇策が企業の利益にどの程度影響を及ぼすのか。日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門の山田英司理事が、ゼネコン最大手4社の有価証券報告書で試算してみたところ、3%の賃上げが営業利益を押し下げる割合は1.6~3%にとどまった。ただし、外注先の技能者の労務費を3%引き上げる場合には、影響は大きくなる。外注の技能者の賃上げに伴う営業利益の減少割合は、4~6%に達した。つまり、社員と外注先の技能者に対して3%の賃上げを実行する場合には、営業利益は6~9%も下振れしてしまうのだ。

この制度に対して建設会社などが不安に感じているのは、賃上げに伴う入札での加点措置がいつまで続くのかという点だ。現状の制度が続く限り、毎年賃上げを繰り返さないと入札での加点メリットは享受し続けられない。ロシアによるウクライナ侵襲が加速させたエネルギー価格の上昇やコロナウイルスの感染拡大がもたらしたサプライチェーンの混乱、急激な円安などが追い打ちをかける建設資材の高騰など、建設コストを取り巻く環境は厳しくなっている。この仕組み自体が、民間企業側のさらなる体力勝負を促す側面も持っているのだ。

賃上げ加点なしでは落札困難 建設コンサルでも賃上げ競争に

大手建設会社に対して日経コンストラクションが2022年の賃上げの取り組みを調査したところ、ベースアップを

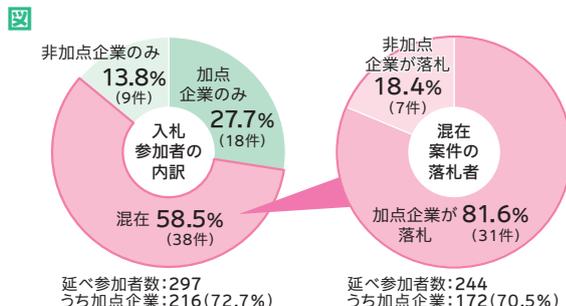
図る企業が数多く存在した。定期昇給だけでは給与の増加幅が2%程度にとどまるので、3%以上の賃上げ達成には、ベースアップが必要なのだ。

国の思惑通り、入札優遇策による賃上げは着実に効果を上げている。国土交通省関東地方整備局の一般土木工事の入札結果65件を集計したところ、延べ297の参加者のうち、約7割が賃上げ加点を受けていた。加点された会社と加点を受けていない会社が混在する入札のうち、加点企業が落札した割合は8割を超えている。

しかも、辞退や無効を除いて2社以上が参加した入札50件のうち、加点企業が落札した43件を見ると、落札企業の加点がなければ、失注していたケースは44%に及んだ。賃上げ加点が入札においていかに大きな役割を占めているかは、この集計結果だけでも十分に伝わってくる。

賃上げに突き進むのは建設会社だけではない。建設コンサルタント会社も続々と賃上げを表明している。

建設コンサルタント業務についても、国土交通省関東地方整備局が開札した土木関係の建設コンサルタント業務について入札結果を調査した。賃上げ加点を受けて落札していたケースについて、辞退や無効を除いて複数の会社が競った入札を分析してみると、落札企業の7割弱が、加点がなければ次点の建設コンサルタントに負けていた。賃上げ加点なしに入札で勝ち残る難しさを物語っている。こちらでも賃上げによる体力勝負という近未来を予測させる点は建設会社と同じ状況にある。



日本建設情報総合センターの「入札情報サービス」で、国土交通省関東地方整備局が2022年4月1日~6月15日に開札した一般土木工事の入札を抽出。賃上げ加点の対象となった65件の結果を日経コンストラクションが集計した。「辞退」や「無効」の会社は、入札参加者から除いた

第46回

かわいい

土木



生駒ケーブルと 生駒山上遊園地飛行塔 奈良県生駒市

金属供出をまぬがれ 生き残った飛行塔

大阪府と奈良県の境にある生駒山^{いこま}。今から93年前、その山頂に遊園地がオープンした。子どもたちの人気の的は飛行塔。アクセスのため、急勾配を昇ることのできるケーブルカーもつくられた。戦時中の金属供出を奇跡的にまぬがれた飛行塔とケーブルカーを見に、生駒山上遊園地を訪れた。

Photo・Text ▶ フリーライター 三上 美絵

大成建設広報部勤務を経てフリーライターとなる。「日経コンストラクション」(日経BP社)や土木学会誌などの建設系雑誌を中心に記事を執筆。広報研修講師、社内報アワード審査員。著書『土木技術者になるには』(ベリカン社刊、2022.4発行)



複葉機型のかわいいゴンドラが、塔の周囲を回りながら空へ向かってぐんぐん上がっていく。足元に広がる大阪平野。海は霞んで見えないけれど、風は澄んで爽やかだ。反対側に回ると、今度は奈良盆地が一望できる。最高点に達したゴンドラは、ゆっくりと螺旋を描いて降りていく。

生き残りの秘密は 見晴らしのよさ

生駒山上遊園地が開園したのは1929(昭和4)年。飛行塔は当初からあり、93年たった今も、骨格は元のままの姿で現役として動いている。現存する大型遊具の中で

日本最古だという。

私が30年以上ぶりに遊園地なる場所へやってきたのは、この飛行塔が2021年度の土木学会選奨土木遺産に認定されていたからだ。このニュースを聞いたとき、「遊具が土木遺産？」と少し驚いた。だが考えてみれば、遊具とはいえ高さ30m、直径20mの鉄塔だ。ドボかわいくも、れっきとした土木構造物なのだ。

設計者の土井万蔵は、「大型遊戯機械の父」と呼ばれる機械技術者。輸入が主体だった大型遊具の国産化を手掛けたパイオニアで、飛行塔を創案したのも土井だといわれる。

土井の設計による飛行塔は全国各地に

設置されたが、残っているのはこの1基だけ。というのは、第二次世界大戦の際、鉄製の遊具のほとんどは、国に供出させられたからだ。

ではなぜ、この飛行塔だけが難を逃れたのか。乗り場に掲げられた選奨土木遺産のプレートに、その理由が刻まれていた。該当箇所を引用しよう。「戦時中には生駒山上に海軍基地が設置され、物資不足で日本中のあらゆる金属が回収されていく中、飛行塔は軍の防空監視所として使われたため、奇跡的に存続しました」。

生駒山上遊園地は名前のとおり標高642mの生駒山の山頂にあり、飛行塔からは陸地も空も見渡せる。防空監視所にはうってつけだったのだろう。といっても、ゴンドラに乗って回りながら敵機襲来を監視したわけではない。飛行塔の上部には



▲ 生駒山上遊園地の飛行塔からの眺め。晴れた日には大阪城や大阪湾、明石海峡大橋まで見えるという。



▲ 生駒山上駅から遊園地へ向かうスロープ。平日の午前中でも親子連れなどで賑わっていた。

展望台が設けられており、そこを利用した。ゴンドラと塔に内蔵されていたエレベーターは取り外されたという。

鉄道会社の需要喚起策としての遊園地経営

選奨土木遺産には、飛行塔と同時に、遊園地へのアクセス路である「近畿日本鉄道生駒鋼索線(生駒ケーブル)」も選ばれている。

生駒ケーブルは、生駒鋼索鉄道が敷設した日本初のケーブルカー。役行者が開いたとされる古刹、宝山寺へ参拝する人たちのために1918(大正7)年、鳥居前駅から宝山寺駅間1kmの宝山寺1号線が開業した。

設計したのは、近鉄の前身である大阪電気軌道(大軌)の電気技術者、大戸武之。国内に前例のない中、海外の文献を集め、苦勞して設計したという。完成した生駒ケーブルは、珍しさもあって、年間300万人の乗客を集めた。4年後には大軌が生駒鋼索鉄道を合併し、宝山寺2号線を追加。生駒ケーブルができて急増した宝山寺の参拝客に対応するためだ。

日本の私鉄の草創期は、このように以前からあった寺社や観光地へ向けて路線を延ばすのが常だった。そして次第に、自ら遊園地などを開設し、需要を創出していくようになる。

この手法の例としては、実業家・小林一三率いる阪急電鉄が明治末、宝塚に温泉と遊園地、大劇場を開発したのが有名だ。関東でも、閉園した二子玉川園や向ヶ丘遊園、としまえん、存続している西武園ゆうえんちなど、どれも電鉄系の遊園地だ。

大軌もまた、この流れに乗って生駒山上遊園地をオープン。開業に合わせて、宝山寺駅から生駒山上駅間1.1kmの生駒ケーブル山上線を新設した。

海軍基地が置かれたことで奇跡的に生き残った飛行塔。戦時中は鉄道ルールも供出対象であり、基地がなければ生駒ケーブルも廃線になっていたかもしれない。そんな時代が二度と訪れないことを祈りつつ、下りのケーブルカーに乗り込んだ。



▲ 飛行塔の全景。戦時中に展望台が防空監視所として使われた。かつて塔の内部には、ゴンドラとつながったエレベーターがあり、ゴンドラが上昇するとエレベーターが下がる仕組みだった。



▲ 宝山寺駅に停車中のケーブルカー。車両は6種類あり、この車両の愛称はミケ。



▲ ケーブルカーからの眺望は抜群。宝山寺線は13度、山上線は18度という急勾配だ。



▲ 生駒山上駅。ケーブルカーの運転は、画面左側の運転室で行う。



▲ 2台の車両は井戸のつるべのようにケーブルでつながっており、複線部分ですれ違う。



アクセス

近鉄生駒駅から鳥居前駅へ歩いて生駒ケーブルに乗り換え、宝山寺駅で乗り継いで終点の生駒山上駅へ。駅のすぐ前に遊園地の入口がある。

令和4年度 「作文コンクール」 受賞作品が決定!

国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会では、高校生の方と建設産業で働く方を対象とする作文コンクールを実施し、優秀な作品を表彰しています。今回は、国土交通大臣賞に選ばれた2作品をご紹介します。



高校生の作文コンクール



国土交通大臣賞 受賞作品



静岡県立
浜松工業高等学校
建築科1年
安間 菜月さん

幸せを創る職業

受賞者ヘインタビュー

■Q1 正直まだ実感しておりません。でも、私が綴った文章が誰かの心に届いたんだと思うととても嬉しいです。今までこのような大きい賞を取ったことがないので今回受賞できたことを励みに、今後もさらなる努力を続けたいと思います。

■Q2 自分の夢を追いかけるためです。本校は実習などでの環境が整っており、建築に関する様々な経験ができるからです。また、兄が卒業生という事もあり本校の雰囲気近く感じており、とても興味を持ったからです。

■Q3 平屋建ての平面図、立面図、断面図などの図面を書いたり、椅子を製作したり、2焦点パース作図、測量など幅広く様々なことを学んでいます。建築に関する用語、名称、意味合いなどを学ぶ一方で、有名建築家が設計した住宅にふれることもあります。

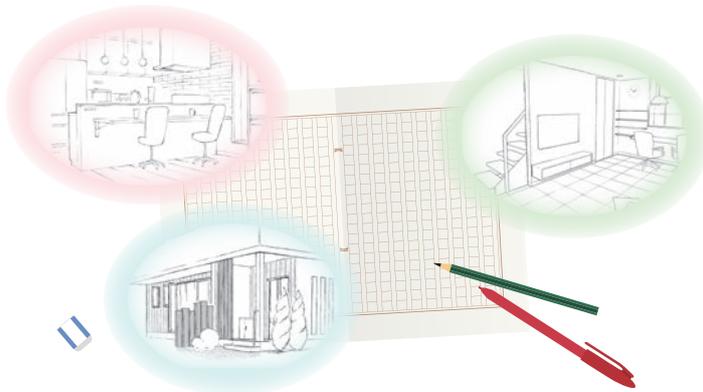
■Q4 インテリアプランナーになることです。中学2年生ごろからインテリアや内装に強く興味を持つようになり「実際に自分の手で素敵な空間をつくりたい」という思いからこの夢を目指しました。誰かの思い出が紡がれるときに自分の作った空間がそこに在ればいいなと心から思います。

朝起きて、ご飯を食べ、学校に行き、授業を受け、帰り、お風呂に入り、寝る。人によって過ごす一日は違っていても、そこにあるものはいつだって「空間」だ。私たちはいつだって空間の中に生きているのだ。

家の近くに工業高校があった。進路を気にするようになった頃、私の父も兄も通っていたこの高校に興味を持ち始めた。最初は「家が近いから」という理由だったが、兄からの話や実際に高校の雰囲気を近くで見ていると、次第にこの高校に入学したいと思うようになっていた。当時インテリアに興味があった私は、抽象的ではあるが、内装に携わる仕事がしたいと思うようになっていった。その時ぐらいから同時に「空間」に対しても興味を沸き始めていた。浜工について調べていくうちに建築科があることを知った。資格も沢山取れるらしい。ただ、自分の夢が抽象的であったが故に高校三年間を専門分野に振り切ってしまうといいのか。というモヤモヤがずっと心の中にあって、中々一歩を踏み出せなかった。そんな私の背中を押してくれたのは、一つの記事だった。「誰かに楽しいを沢山届けるための遊び心満載の空間」。ある会社のオフィス移転の記事だったが、その記事を見て私の抽象的だった気持ちが「誰かの為にその人が一生を楽しく暮らせるような空間を作りたい。」という気持ちになった。建築科を目指そうと心に決めた瞬間だった。

誰かの一生を決める仕事に就く。「空間を作り上げる。」ということとはつまりそういうことになる。それが家や自分の部屋だったら尚更だ。自分が過ごす空間は何よりも何処よりも安心ができて快適に過ごせる場所ではなくてはならない。建築の仕事に就くということは、誰かの人生を任されるという事に匹敵するだろう。私はあの日読んだ記事にあったオフィスのように

誰かにわくわく感を与えられ、笑顔を作れるような空間を作りたい。そしてその空間が楽しい空間であれば、そこでどんなことがあろうと必ず記憶に結びついていく。沢山の人が訪れるような公共施設から、一軒家の軒下。そして自分が作り上げた空間が笑顔に変わる瞬間をこの目で見たい。小さな一つの幸せを沢山創りたい。建築科に入ったからこそ自分の夢を実現させたい。人生を担う職を目指すからこそ、毎日、今日を全力で頑張る。そしてあの日の決断に後悔が残らないように、自分の行動に自信をもってこれからの毎日を過ごしていきたいと思う。将来の自分が誰かの幸せを創り、そこには記憶する空間があり、自分自身も笑顔でありますように。



受賞者ヘインタビュー

高校生の作文コンクール

- Q1 受賞された感想を教えてください。
- Q2 なぜ工業高校に進学しましたか？
建設系の勉強をしようと
おもったきっかけ等
- Q3 学校ではどのような勉強をしていますか？
- Q4 将来の夢を教えてください。



コダマインフラサービス株式会社
丹羽 恵美子さん

ヒーローを探して

受賞者へインタビュー

■Q1 この度は国土交通大臣賞を授与していただき、誠にありがとうございます。大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。共に働く職場の仲間たち、私を支えて下さった全ての方々に心より感謝申し上げます。 ■Q2 40歳で初めての正社員就職をしようと就活していた時に、たまたま求人が目にとまったことがきっかけでした。経理事務の募集という認識でしたので、建設業へ入職したと知ったのは、実はかなり後でした。 ■Q3 管理部の主任として、経理からIT管理者・採用・広報・社員教育など幅広く取り組んでいます。また東京都の女性活躍事業TOKYO Women's キャリア・サポーターとして、管理職の日常を発信しています。 ■Q4 2021年秋に大学に編入し、心理カウンセリングを学んでいます。大学での学びをこれからの組織づくりに生かしたいと考えています。今後も会社と建設業の発展に大きく貢献できる人材になれるよう努力し続けたいです。

「建設業の採用が厳しいのは、今に始まったことではないんですよ。」そう言いながら資料を見せられた私は、低い数字が並ぶ表を見て愕然とした。ここはハローワークの23番窓口、人材確保・就職支援コーナー。特に採用が難しいとされる建設・警備・運輸業の採用支援に特化した部署だ。東京2020オリンピックが開催されるはずだった2020年の初め、私はすがる思いでこの窓口を訪れていた。

当時の私は、採用担当者として駆け出しだった。それまでは事務方として縁の下の力持ちに徹していたが、業務の幅を広げるために取り組み始めたのが採用だった。社員十数名の、電気を扱う小さな会社。社員の平均年齢は上昇の一途を辿り、久しく若者を見ていない。求人を出しても音沙汰無く、挙句の果てには「誰でもいいから、とにかく人が欲しい」と言われる始末。そんな状況を聞いた窓口の担当者は、様々な支援を提案してくれた。そんな温かな対応に励まされ、私は動き出した。

活動を始めて最初に考えたことは、建設業の採用が難しい理由と、業界の魅力と誇りについてだった。私のイメージとしても、建設業＝3Kでしかなかった。しかしながら社員の働く環境は、既に随分と改善がなされていて、昭和の体育会系のノリや荒ぶる職人たちというイメージとも違うのだ。それでもやはり一般的なイメージが変わらない限り、建設業に興味を持つ人は少ないままだろう。そこを変えなければ、という結論に至った。

そこでまず、会社で一番の古株社員に話を聞いてみることにした。25年以上この業界に携わってこられた理由は何なのか？その社員は答えた。「自分は未経験から電気の道に入ったが、この道は何年経っても頂上に辿り着ける感覚が無い。技術は日進月歩で進歩し続けているので、新しいものが出る度に自分はまた初心者として勉強することになる。その仕事の奥深さが自分にとっての魅力だと思う。そして、自分の仕事によってお客様から感謝されることが嬉しいし、人々の当たり前の日常を陰で支えているのが自分達だという誇りを常に持っている。」と。それを聞いた私は、初めてその社員のことを心底カッコイイと思った。多かれ少なかれ、建設業に携わる人々は、こういうプライドを持っているのではないだろうか。その姿を伝えたい、伝えることが私の使命だと確信した。

それから、私のプレゼンは変わった。社員の口から仕事の魅力や誇りについて語ってもらえるようなスタイルにした。普段は見せない仕事への熱い思いを、大勢の前で語る彼らはとてもカッコ良かった。そして、最後に「採用担当者としては、単に

人が採ればいいのかもしれませんが、でも、私は違います。私はこの建設業に携わる人達の魅力や誇りを皆さんに伝えることで、業界のイメージを変えていきたいと思っています。日本のモノづくりには、世界に誇ることでできる技術力があります。それに興味を持つ人を採用し、この社員達のように仕事に誇りを持てるよう育成していくことが、当社の願いです。」と伝えた。

そんな地道な活動が実って、2年の間に5名の若者を採用することができた。入社した動機は様々だったが、皆この業界に希望を持って入ってきてくれた。伝え方を変えただけでこんなに変わるものなのかと、私自身が一番驚いている。

今年の年度の変り目頃に、23番窓口の担当者から徐々に連絡が入った。「コロナ禍で失業など労働市場に変化はあるものの、建設業の採用が厳しいのは相変わらずです。」と書かれていた。それに返信する形でここ2年の採用実績を報告したところ、大変驚かれて「ハローワークの仕事がなくなりそうです。今度、企業向けに採用活動に関するセミナーを行うので、是非皆さんの前でお話しして下さい。」と返ってきた。2年前に相談で窓口を訪れた私が、今では採用に困っている企業を前に話すようになるとは、誰が想像できただろうか。

改めて、建設業の魅力について考えてみたい。建設業は「つくる」と「まもる」に分けられる。つくる人達は、よく工事現場で見かける。私には成人になる息子がいるが、幼い頃は重機や大型車両が大好きで、工事現場巡りをしては、二人で遠くから眺めて「カッコイイね」と話していた。車も働く人もカッコ良かった。手を振ってくれた工事現場の人達は、息子の憧れのヒーローだった。そう、つくる現場の人達はヒーロー集団なのだ。そして今、私はまもる人達を陰で支えている。仕事に誇りを持ち、日々現場で頑張っている彼らもまた、社会インフラをまもるヒーローだ。日本のモノづくりを支え、黙々とミッションを遂行し、社会の安心安全をつくり・まもるヒーロー達の活躍こそが、建設業の魅力であり誇りではないだろうか。

今日も私は採用活動に励む。そう、毎日現場で頑張るヒーロー達の魅力を伝えつつ、新たなヒーローを探すために。

受賞者へインタビュー

私たちの主張

- Q1 受賞された感想を教えてください。
- Q2 建設業へ入職したきっかけを教えてください。
- Q3 現在はどうのお仕事をされていますか？
- Q4 今後の目標を教えてください。

を活用しよう!

インターネットでの登録申請の前にはすること

登録は、「事業者登録」→「事業者IDを受理」→「技能者登録」の順ですすめていきます。
インターネットから登録申請を始める前に以下の手順で準備をするとスムーズに登録ができます。



1

社内で**CCUSの登録責任者(実務担当者)**を決めて、
登録に使用する**PC**や各種IDや
パスワードを受け取るための
メールアドレスを準備する



登録責任者



登録に使用するPC



CCUSから届く連絡用のメールアドレス

2

事業者登録に必要な書類を準備する

- 建設業許可がある場合は、「建設業許可通知書」か「建設業許可証明書」のいずれかの写し
建設業許可がない場合は、
法人の場合 → 「事業税の確定申告書」または「納税通知書+履歴事項全部証明書」のいずれかの写し
個人事業主(一人親方)の場合 → 「納税証明書」か「所得税の確定申告書」か「個人事業の開始届」のいずれかの写し
- 健康保険(社保もしくは国保)の加入証明書
- 年金保険(厚生年金もしくは国民基礎年金)の加入証明書
- 雇用保険の加入証明書
- 建退共・中退共の加入証明書
- (一人親方の場合のみ) 労災保険特別加入の証明書



※どの書類を準備すればよいのかについては、「証明書類見本一覧(事業者編)」に具体的な書類の見本を掲載しています。

3

証明書類を複合機でスキャンしたり写真を撮るなどしてJPEGデータにして、登録に使用するPCのデスクトップに「登録用フォルダ」を作っておく

スキャナー・複合機
スマートフォンなどでJPEGに変換

添付ミスを防ぐために
分かりやすいファイル名に変更しておく



建設業許可通知書.jpg



電子化された書類(JPGファイル)を保存

4

CCUSホームページから「申請用ログインID・パスワード」の申込みをする



↑↗↘CCUSのホームページを開いて、赤枠の部分を①～③の順にクリックしていくと、④事業者新規利用申込み画面が出てきます。

⇒申込み画面に必要な事項を入力してから最後に「利用申込み」のボタンを押すと、「事業者新規登録申請用ログインID・パスワードのお知らせメール」が届きます。
届いたメールはなくさないように保管してください。

④ 事業者新規利用申込み画面
利用申込みボタン

建設業経理士

CPD講習

1級
2級

国土交通大臣登録番号第1番

「建設業経理士CPD講習」について

登録経理講習とは、建設業法施行規則第18条の3第3項第二号に規定されている講習であり、登録経理試験合格者（1級建設業経理士および2級建設業経理士）の継続教育を目的としたものです。経営事項審査においては登録経理試験の合格後5年を経過した者は、「登録経理講習」を受講しかつ試験に合格しなければ、評価対象となりません。但し、令和5年3月までは経過措置が適用されており、「登録経理試験」合格者のすべてが経営事項審査で評価されます。

本財団は「登録経理講習」の実施機関第1号として、国土交通省に認定され、「建設業経理士CPD講習」の名称で実施しています。



「建設業経理士CPD講習」は講義と試験で構成されており、試験に合格すると講習修了証が交付されます。

受講対象者 ①登録経理試験1級若しくは2級合格者
②1級・2級建設業経理士登録講習会を受講された方（建設業経理士1級・2級合格者）

講習時間 講義6時間+試験1時間=計7時間

受講料 18,000円(税込)

講習形態 オンライン講習 会場講習（映像・対面）

申込方法 オンライン講習：ホームページより申込 会場講習：ホームページ又は郵送による申込

可否結果 ①オンライン講習・・・講習日翌日から10営業日後（マイページで確認）
②会場講習・・・講習日翌日から約1ヶ月程度（可否結果を郵送）

有効期限 修了年月日から5年を経過した日の属する年度の年度末（3月31日）まで

講習受講の目安 令和5年3月までは経過措置が適用されます。
受講申込の前に必ずホームページでご確認ください。



https://kssc-keiri.com/seminar_criterion.html

受講対象者講習受講の
目安はこちら

お問い合わせ

一般財団法人 建設業振興基金 建設業経理士CPD講習受付センター

TEL : 0570-018-081 FAX : 0570-038-096

お問い合わせ対応時間：9:00~12:00/13:00~17:00(土日・祝日を除く)

<https://kssc-keiri.com>

建設業経理士CPD 検索

PROFILE

おがた なみ
緒方 奈巳さん有限会社 緒方建築工業
佐賀県出身アクティビティーズ
Activities
輝く活躍人にせまる

子どもたちに誇れる天職。コンクリートを形作る型枠大工!!

建物や橋、トンネルなど、様々なコンクリート構造物を対象に幅広いフィールドで活躍する型枠大工。「型枠工事は、例えるならプリンを容器を作る工事。柔らかい液状のコンクリートを流し込み、決まった形に固めるための容器(型枠)を造り込むことが型枠大工の仕事です」。そう語る緒方奈巳さんも、現場で活躍する型枠大工の一人。今取り組んでいるのは、水路函渠(かんきょ)の現場だ。

以前は保育士をしていた緒方さん。「建設業に携わったきっかけは、型枠大工である夫と結婚したことです。自営業なのでいずれは事務などを手伝うかも、とは思っていましたが、まさか現場に出るなんて想像もしていませんでした(笑)」。現場が多忙な時期に道具の持ち運びや片付けなどの手伝いを始めたことが、工事に関わった最初の思い出。「お手伝いとはいえ、そこに入れば“現場の人間”。女性だからとか、経験が浅いからといったことは言い訳になりません。現場の皆さんはできるだけ私に負担をかけないよう配慮してくださいましたが、周りに迷惑をかけては申し訳ない…という気持ちのほうが強かったですね」。3級型枠施工技能士の資格を取得したのも、そんな思いが高じた結果だった。「資格を取得することで仕事を任せてもらえるし、現場の戦力にもなる。会社としてもより大規模な仕事を請けられるので、私自身にも会社にもプラスになりました。ただ、専門用語や知識の習得も大切ですが、現場で“見て覚える”しかない技術やノウハウもまだまだたくさんあります。周りの皆さんの温かなサポートの中で、日々目を

凝らして動きを学び、自身の手で繰り返していくことで、さらに現場の力になれるよう成長していきたいと思います」。

女性の入職や定着にも注目される昨今、ご自身の働き方についても何と「もちろん夏の暑さや冬の寒さ、現場の厳しさなどもあります。楽しいこともいっぱい。以前より現場が整備され、女性の働きやすさも向上しています。また前職と比べて、しっかり休憩がとれるようにもなりました。休憩中には周りや世間話をしたり、経験豊富なベテランの方の話を伺ったり、同じ趣味の話で盛り上がりたりと、充実した時間を過ごしています。働く環境としてはすごく恵まれています」と話す緒方さん。「自分たちが仕事をした現場を子どもたちに見せると『すごい!』と喜んでくれるし、『お母さんみたいな型枠大工になりたい』とも言ってくれて、とてもうれしかったです。そうしたやりがいを感じられるのは、この仕事の醍醐味ですね」と笑顔を見せる。

前職と現在とは全く異なる仕事にも思えるが、今に活着ている部分も多いそう。「はじめて仕事をする方とも笑顔で話したり、自然にコミュニケーションがとれたりするのは、多くの子どもや保護者の方と関わってきた保育士の経験が活かしています。そんな保育士時代も懐かしいですが、今は型枠大工こそ本当の天職だと感じています」。次なる目標は2級型枠施工技能士の取得と話す緒方さん。その笑顔と誇りある姿に、子どもたちが憧れるのも当然だ。

